

2014年8月18日(月)

朝日新聞 三重 25面

ボードゲーム 囲んで交流を

津



ボードゲームを楽しむ人たち＝津市大門

机を囲み、飲み物を飲みながらボードゲームを楽しむ「ボードゲームBar」が津市大門のコミュニティスペース「kaidan（カイドアン）」であった。通常は木曜夜の開催だが、16日は夏休みの学生向けに開かれ、22人が参加した。この日は、カードを使って「自分が王様だ」と宣言して金貨を稼ぐ「マスカード」や、相手のウソを見抜いて害虫が寄りつかないようにする「ごきぶりポーカー」というゲームなどを楽しんだ。

Barを主催してきた津市NPOサポートセンター

の川北輝さん(35)によると、ボードゲームはドイツ発のものが多く、相手と会話しながら進めるため、幅広い年齢層が参加でき、コミュニケーションが進むという。初めて体験したという三重大2年の鈴村耕平さん(19)は「知らない人とも交流でき、楽しかった」と話した。

Barは毎週木曜午後6時から同所である。問い合わせは同センター(059・213・7200)へ。